



Twitter



YouTube

明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

# KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail: gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 181

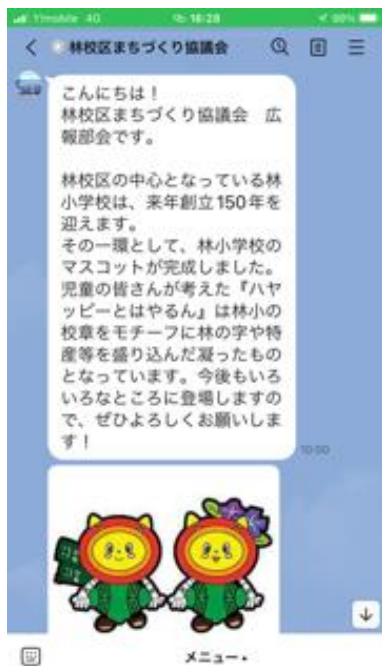
2022

10.31

## 学校の取組を伝える「My town HAYASHI」

林小学校の「My town HAYASHI」第2弾をアップしたことは前号でもお知らせさせていただきました。学校の生活の様子を伝えるのではなく、学校がこれから目指す方向を保護者の方や地域の方に伝えたいという思いで、「My town HAYASHI」をアップされました。「My town HAYASHI 1」は、限定公開でしたが、今回、林校区まちづくり協議会さんが公式 LINE アカウントで紹介していただき、地域の皆様のところまで情報がとどいたのではと思っています。こうした SNS 等を活用した林校区の取組は学校と地域が連携・協働する一つの切り口になるのではと考えます。第3弾はより学校の取組をメッセージとして伝えられたらと企画中です。どんな動画が完成するか楽しみです

【参照）林校区まちづくり協議会公式 LINE アカウント】



こんにちは！

林校区まちづくり協議会 広報部会です。

林校区の中心となっている林小学校は、来年創立 150 年を迎えます。その一環として、林小学校のマスコットが完成しました。

児童の皆さんが考えた『ハッピーとはやるん』は林小の校章をモチーフに林の字や特産等を盛り込んだ凝ったものとなっています。今後もいろいろなところに登場しますので、ぜひよろしくお祈りします！

また、150 年という大きな節目の今、積極的に学校を開き、林にある豊富な地域教材を活かして新しい取り組みを始めています。

その一環として始めたのは YouTube。林小の取り組みを紹介する動画として『My town HAYASHI』の No.1 が公開されました！

積極的に活動している林小学校。動画も今後増えていく事が予想されます。また、創立 150 年に向けて色々計画中的とのこと。まち協もお祝いや活動をお手伝いできればと思っています。

是非、動画もちろん、先生方の活動にも注目してくださいね！

メッセージを読むと、本当にありがたいなと思います。地域教材をとおして子どもたちと地域の皆さん、保護者の皆さんと一緒に学びを深めていっていただけたいなと思います。その中で、子どもたちは地域のみなさんの応援の中で、未来に向けてのパワーをどんどんためていくことができるのではと思います。それが未来を生きていくために必要な社会的情動スキル（非認知スキル）なんだと思います。



NO. 1



NO. 2

## “うちのうり” 紹介 No.6

### 花園小学校の“うちのうり”

校内研究 研究主題『仲間とともに豊かな学びを創造する子をめざして

～話し合いを通して学びを深める工夫～』

本校では、2018年度よりこの研究主題の下、研究を進めてきた。今年度より、教科を全教科から国語科に絞り、国語科の授業を通して話し合いの力を高めることを目標に研究をスタートしたところである。話し合う力は、全教科に関わることであり、教科横断的な視点につなげることができると考えている。本校の研究のうりは以下の3点である。この3点に力を入れ、今年度の研究をより良いものにしていきたい。

#### 研究のうり① 単元づくり

指導の重点の最重要項目として「おもしろい単元づくり」としている。主体的・対話的な話し合い活動が生まれる授業を「おもしろい授業」とし、児童達の知的好奇心をくすぐられる単元構成や授業構成を研究する。話し合いを手段とし、教科としての目標を果たせるよう、仕掛けを考えていく。

#### 研究のうり② 教師のコーディネート力（ファシリテート力）

副題である「話し合いを通して学びを深める工夫」として、手立てについて研究する。児童達の考えのもち方・出し方・深め方について、考えていく。コーディネートの捉えとして以下の2点をイメージしている。

- (1) 授業のコーディネート（授業展開）
- (2) 話し合いのコーディネート

話し合いを深めるためには、いかに児童達に自分の考えをもたせるかということが大切だと考える。そのため、話し合いをコーディネートすることだけでなく、本時のめあてや主発問、板書等の授業展開についても大切にしていきたいと考えている。

#### 研究のうり③ チーム研究

児童の主体性を育むには、教師の主体性を育むことから始まると考える。今年度は教師を3つのチームに分け、チームごとにテーマを決め研究する取り組みを行っている。授業づくり・学級づくり・スキルアップの視点から研究を自分事として考え、取り組んでいるところである。